

優雅にして素朴な“アイルランド”の音楽

日時： 4月30日(土) 18:30～19:30

会場： 東京富士美術館

出演： 守安 功（横笛、たて笛）
守安 雅子（アイリッシュ・ハープ、コンサーティーナ）



内容： “アイルランド”の日常に今なお息づく、伝統音楽。ラジオやテレビのなかった時代から奏でられている、素朴で誠実な響きが私たちの心に染みわたります。優雅にして素朴な調べをお楽しみ下さい。

曲目： ダニー・ボーイ、サリー・ガーデンズ、ブラーニー城への巡礼、春の日の花と輝く、酔っ払いのおかみさん、大きな妖精 小さな妖精 他



守安 功 & 雅子 “Paddy & Bridget”

守安功と雅子の二人は、一年のうち三分の一以上をアイルランドに滞在し、地元の数多くの演奏家や歌手やダンサー達と時を共にしています。「パディー & ブリジット」の愛称で、アイルランド各地で演奏活動を行い、現地の新聞、テレビ、ラジオ、ビデオ、雑誌などでも頻繁に紹介されてきました。

今やその活動は、現地の音楽家やダンサーや作家や詩人たちからも高く評価され、録音制作した2枚のCDは、アイルランドのみならず、英国やアメリカの批評家からも賞賛されています。

まさに我が国のアイルランド伝統音楽の第1人者といえるでしょう。

守安 功（フルート、ホイッスル） もりやす いさお

桐朋学園大学音楽学部古楽器科卒、同研究科修了。在学中、第10回全日本リコーダーコンクール独奏部門最優秀賞受賞。また、江戸里神楽四代目家元若山胤雄に日本の笛と太鼓を師事し、国指定重要無形文化財江戸里神楽若山社中離子方として活躍する。

1987年渡欧し、スウェーデン国立ヨーテボリ音楽大学、旧東独ライブツィヒ・ゲヴァントハウス等、各地で日本の伝統音楽及び現代音楽についてのレクチャーやリコーダー・リサイタルを行う。

現在は、アイルランドの音楽の演奏と研究に専念している。94年より2003年まで国立音楽大学講師、2005年より桐朋学園芸術短期大学講師も務める。

著書に、「アイルランド 人・酒・音」「アイルランド 大地からのメッセージ」(以上、東京書籍)、「アイリッシュ・ダンスへの招待」(共著、音楽之友社)、「アイルランドを知るための60章」(共著、明石書店)。訳書に「アイルランド音楽への招待」キアラン・カーソン著、「アイルランド音楽入門」ダイアナ・ブリアー著(以上、音楽之友社)、「アイルランド」(国土社)ほか。

守安 雅子（アイリッシュ・ハープ、コンサーティーナ） もりやす まさこ

アイルランドにて出会った音楽家たちの演奏に魅了され、アイルランドの伝統音楽とバロック音楽の演奏を始める。トミー・マクマホン、メアリー・マクナマラ、ノエル・ヒルはじめ、アイルランド西部、クレア地方の多くの名人たちからコンサーティーナの伝統的な奏法を学ぶ。また、マイケル・ルーニー、バーバラ・ドイル、モーラ・ニ・カハスィーにアイリッシュ・ハープを師事する。